



2024年10月29日

日本鉄道労働組合連合会

第18回女性役員意見交換会を開催！

～産別・単組の課題や取り組みを共有～



情報共有・意見交換の様子



JR連合は10月25日、JR連合事務所において「第18回女性役員意見交換会」を開催した。政所大祐事務局長、吉田春菜執行委員のほか4単組10人の女性役員が参画し、連合やJR連合のジェンダー平等・男女平等参画推進に関する計画・目標内容と進捗、課題等について情報共有を行うとともに、闊達な意見交換を実施した。

女性役員の定着には何が必要？

JR連合「第4次男女平等参画推進行動目標」では各級機関の女性役員登用数や機関会議への女性参画数等において目標を設定している。一方で、目標達成に向けては各単組・機関で共通するハードルがある。

当日は課題を共有し、役員の定着に必要な事柄について意見交換を行い、次のような意見が出された。「組織トップの強いメッセージとリーダーシップが必要不可欠」、「女性役員だけでなく男性役員が現状を理解し、女性の後輩を育て上げる覚悟を持ち徹底することが大事」、「役員自身が実感を持って楽しんでいることを伝えられる組織と運動か、後輩に勧められるか、といった観点からの活動の改革が必須」、「役員登用は、経験不足でも役員に入れてサポートして育てるという対応が重要」、「単に女性の声を代弁させるという位置づけではなく、あなたのその能力をここで活かしてほしいといった物言い等、登用の仕方意識は変わる」、「非専従役員が仕事と組合活動の両立をできるような活動や役員・担務の在り方が重要」、「女性役員は独身に偏りがち。結婚しても子育て中でも役員をできるような環境整備が大事」、「自分の時間を仕事と家庭、組合活動、趣味等のプライベートなどに配分した時に、どうしてもまだ女性は家庭の負担の部分が大きくなりがち。これを変えないと、組合活動に時間を割けないということになる」、「主体性を持ち、時間を作れるような活動の進め方、ツールの活用が大事」など、闊達に意見が交わされた。今後の取り組みに反映していくことを確認し、意見交換会を終了した。

